

卓球は気軽にできる生涯スポーツ

徳田 明子 さん (米湊)



軽快なラリーの音と、笑い声が響き渡る下吾川のつばさ卓球センター。徳田明子さんは、自身も現役の選手として活動しながら、そこで卓球の指導を行っています。

小学2年生から卓球を始めた徳田さんは、学生時代、そして社会人選手としても卓球を続けました。結婚を機に、しばらく競技を離れましたが、近所の方の誘いを受け再開。平成20年度の全日本卓球選手権大会（マスターズの部）では、3位入賞を果たしました。

そんな徳田さんが、卓球センターをオープンさせたのが昨年7月。長女が小学生になったことがきっかけ



▲テンポの良い、スピード感あるラリーが続きます。

「子どもたちに、私が活躍する姿や、指導する姿を見てほしいと思います。ときどき、娘たちも練習に参加しています。」

現在、つばさ卓球センターの会員は約80人。市内外から幅広い年代の方が通っており、最高齢の生徒は80歳代の方です。グループレッスンや個人レッスン、初心者対象や子ども対象など、それぞれに合った教室を受けられることができます。「自分にできる技術押し付けるのではなく、その人の立場に立って、それぞれができる技術を教えてあげたいと思っています。また、礼儀や精神的な部分など、女性指導者だから気付くところもあるので、子どもたちにはそういった面も指導するよう心掛けています。」

選手・指導者として、また2人の子どもを持つお母さんとして、卓球と家事・育児を両立させる徳田さん

を支えているのは、ご主人とご両親の協力です。「もちろん家庭も大事で、無理なく両立させたいと思っていますので、オンオフの切り替えはしっかりとっています。教室の予約がないときは、家に帰って、家事に専念することもあります。」

今年11月に行われるマスターズ全国大会での入賞という自身の目標に加え、指導者としての目標も大きく膨らみます。「自分の結果よりも、教えている人たちが結果を残してくれる方がうれしい。今年は小学生の四国大会が愛媛で行われるので、一人でも多く出場してほしいです。」

つばさ卓球センターは、会員以外の方でも、1時間300円で気軽に利用することができます。「卓球は、天候に左右されることなく楽しめるスポーツで、どんな方でも気軽に始められます。全国には100歳のおばあちゃん選手もいますし、体にハンディキャップがある方も、楽しくプレーすることができます。定年したり、子育てが一段落したりして、自分の時間ができたような人たちにも、体を動かすにきてほしい。」

冬の間、運動不足気味だった体を動かして、ひと汗流し、心も体もリフレッシュしませんか。

つばさ卓球センター
☎ 994-6160
携帯 090-4501-4320